

2007年度夏の学校全体企画 企画提案書

タイトル	みせてもらおうか、PDの実力とやらを
代表者 (所属・学年・ メールアドレス・電話番号)	赤井 彗星 ジオン士官学校D1 char@ze.on 00-9999-9999
共同提案者 (所属・学年)	
企画内容 (企画の具体的な内容をお書きください。字数、その他制限は特にありません。)	
<p>招待講師というと、どうしてもしても実績のある方々がメインになりがちだが、この企画では、研究者として脂がのりかかっているPDの方々を招待講師としてよび、専門分野のおもしろさや、自分の成果のすごさを熱く語ってもらおうと言う企画である。観測、理論等、さまざまな分野の方々を呼び講演してもらいたいと考えているので、様々な分野の話の聞くことが必要な夏の学校には最適の企画であると考えている。また、近年の夏の学校では、PD層の方々の参加は皆無であった。この企画をすることによって、新しい夏の学校参加層が増え、また講演内容の充実にもつながっていくと考える。さらに通常の招待講師の方に比べ年が近く、接しやすいと考えられるので、共同研究への発展する機会も、現状より多くなるのではないかと考える。</p> <p>また企画の最後の30分程度は、招待講師のPDの方々と、院生時代の反省や院生時代に何をしておくべきか、PDの悩み等のディスカッションの時間にしたいと考えている。これは、修士、博士課程の学生が進路選択をする際に、非常にためになるものだと考える。</p>	
希望する時間数 (企画実行に必要な時間数をお書き ください)	2時間
予定する 招待講師の人数	3～5人
事務局への要望等 (企画を実行するにあたって、事務局側 にお願いしたいことなどをお書き ください)	特になし
その他	招待講師の人数は若干多めですが、PD学振の人に当たるなど、旅費はなるべくかからないようにするつもりです。